

はじめに

近年の情報通信技術の飛躍的な発展によって、私たちの社会には急激な変革が進行しています。生活はより便利になり、場所や時間に制限されずに、様々な情報を取得・発信することが可能となりつつあります。

一方、平成23年の東日本大震災では、情報が十分に行き届かず、多くの人命と財産が失われるという事態が発生しました。また、非常に痛ましい状況の中で、人とひととの絆の大切さが改めて注目されることともなりました。

これらの「情報化」を取り巻く様々な流れの中で、行政にはその将来展望を見据えた適切な対応をとることが求められています。

このたび本町における次なる情報化の基本指針となる「第2次精華町情報化基本計画」を策定するにあたっては、上記の状況も踏まえ、住民の皆様や学識経験者からなる精華町情報化基本計画検討懇話会を設置するほか、住民の皆様から広くご意見の募集（パブリック・コメント）を行うなど、本町の情報化のあり方について様々な視点からご意見を頂戴し、検討を行ってまいりました。

この「第2次精華町情報化基本計画」では、『情報が伝わる 心がかよう ひとつつながるまち せいか』をその基本理念としています。これは、住民がより豊かに、安全で安心して暮らせる社会を構築するという、情報化の本来の目的を再度確認する中で決定されたものです。

この計画が、その理念の実現に向けての指針となることを切望するとともに、その推進においては、住民と行政が対話を重ねながら協働して取り組むことで、より一層実りのあるものになりたいと考えております。

最後になりましたが、貴重なご意見ご提案を賜りました住民の皆様をはじめ、関係者の方々に心から厚くお礼を申し上げます。

平成24年12月

精華町長 **木村 要**